

公益財団法人 日本サッカー協会
2025 年度 第 5 回理事会

2025 年 5 月 22 日

決議事項

1. 評議員推薦加盟団体規則 改正の件

評議員推薦加盟団体規則を以下の通り改正したい。

【背景】

加盟団体が評議員推薦加盟団体としての資格を喪失した場合、当該評議員推薦加盟団体からの推薦により評議員会で選任された評議員が自動的にその資格を喪失することではなく、定款第 17 条の規定に基づく評議員会の解任決議または評議員本人の辞任によって当該評議員の資格が喪失する。これを明確にする。

【改正内容：赤字下線箇所を削除】

(評議員推薦加盟団体)

第 2 条

3 評議員推薦加盟団体に次の各号のいずれかの事由が生じた場合には、当該評議員推薦加盟団体は、評議員推薦加盟団体としての資格を喪失しするとともに、当該評議員推薦加盟団体からの推薦により評議員会で選任された評議員はも、定款に基づく評議員会における解任決議又は辞任により、その資格を喪失するものとする。

- (1) 当該団体が解散した場合
- (2) 当該団体が本協会の加盟団体ではなくなった場合
- (3) 本条第 1 項第 3 号について、当該クラブが Jリーグの所属クラブでなくなった場合

2. 技術委員会 ゲーム環境部会設置の件

(決議) 資料 1

育成年代のゲーム環境の充実に向けた議論を加速させるため、技術委員会にゲーム環境部会を新設したい。

部会名 : 技術委員会 ゲーム環境部会
部会長 : 蔵森紀昭 (くらもり のりあき) JFA 技術委員会 副委員長
所管事項 : ゲーム環境の整備に関する事項
取り組む事項 : (1) 各カテゴリーのゲーム環境方針の策定
(2) ゲーム環境方針の競技会フォーマットへの反映

趣旨 : 従来、ゲーム環境については技術委員会ユース育成部会の所管事項の一つだったが、地域・都道府県サッカー協会の声を聞きながら当該事項を議論し、よりスピード感を持って各種施策を実行するため、本部会を設置する。本部会の下に各育成年代別 (U-18, U-15, U-12) のタスクフォースを設置し、地域や連盟からのメンバーも含め、各年代に特化した議論を集中的に行う体制を構築する。

3. ミャンマーサッカー連盟への義援金の件

ミャンマー中部で 3 月 28 日に発生したマグニチュード 7.7 規模の地震により、深刻な被害が発生し

ている。被災地域の一刻も早い復旧を願い、「海外における自然災害等に対する支援事業の実施に関するガイドライン」に基づき、以下の通り支援したい。

なお、財源は災害復興継続支援引当特定資産を活用する。

支援内容：ミャンマーサッカー連盟（MFF）に支援金として US\$20,000 を寄付。

■参考 1：過去 10 年の災害時支援実施内容（国外）

時期	災害	支援先	各支援先への支援内容
2015 年 4 月	ネパール大地震	ネパールサッカー協会	義援金 US\$20,000
2016 年 4 月	エクアドル地震	エクアドルサッカー連盟	
2016 年 8 月	イタリア中部地震	イタリアサッカー連盟	
2017 年 9 月	メキシコ中部地震	メキシコサッカー連盟	
2017 年 12 月	イラン・イラク地震 ※被害のほとんどがイラン国内で発生	イランサッカー連盟	
2018 年 9 月	インドネシア大地震	インドネシアサッカー協会	
2018 年 11 月	北マリアナ諸島 台風 26 号被害	北マリアナ諸島サッカー協会	
2020 年 10 月	ベイルート爆発	レバノンサッカー協会	
2021 年 9 月	ハイチ大地震	ハイチサッカー協会	
2023 年 2 月	トルコ南部・シリア地震	トルコサッカー協会 シリアサッカー協会	
2024 年 4 月	台湾東部地震	チャイニーズ・タイペイサッカー協会	

■参考 2：海外における自然災害等に対する支援事業の実施に関するガイドライン

2. 支援対象

海外で発生した地震や津波、台風（ハリケーン）、洪水、山火事等の災害の中で、その国民に甚大な被害をもたらし、特に支援が必要と判断される災害を対象とする。

3. 支援内容

具体的な支援の方法として、災害の規模等に鑑み、以下の内容の支援事業を行うものとする。

(1) 海外サッカー協会への義援金

- ① JFA としての義援金の拠出
- ② 義援金口座の開設による義援金募金の実施
- ③ その他の方法による義援金の拠出

(2) 個別支援

- ① 生活支援物資等の提供
- ② サッカー用品の提供
- ③ その他、必要な支援

4. 支援内容の決定方法等

- (1) 支援内容の決定は、原則として、理事会の決議事項とする。